

(令和5年度)

2023

本のたからばこ

がっこうとしょかん
学校図書館からの
おすすめの本

5・6年生



『エツコさん』
昼田 弥子/作 光用 千春/絵
アリス館 より

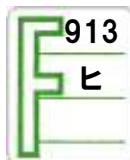


『黄金の村のゆず物語』
麻井 みよこ/著 ポプラ社 より

年 組 名前

エツコさん

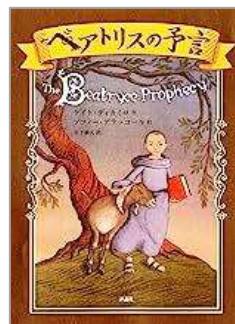
昼田 弥子/作 光用 千春/絵
アリス館



エツコさんは小柄で髪かみの白いおばあさん。普段はニコニコしているけれど、時々考えたり記憶きおくしたりするのが難しくなむずかって自分がわからなくなる。エツコさんは認知症にんちしやうなんだ。孫まなの真名は変わかわっていく祖母そぼに戸惑とまどいながらも、記憶がなくななったとしてもこれまで歩あんできた人生はなくなならないということに気がつく。

ベアトリスの予言

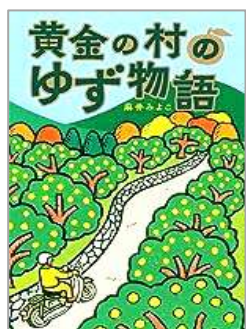
ケイト・デ ヲカミ/作 ワイー・ブ ラッコー/絵
宮下 嶺夫/訳 評論社



むかしむかし、戦争ばかりしていた国では、読み書きができることが特殊能力とくしゆでした。その力を持った少女ベアトリスは、国を救う予言の少女なのではないでしょうか？極悪なヤギ・左目かくが勝手に動かく修道士しゆうどうし・孤児こしの少年・陽気ひげな髭ひげの男ともと共に悪い国王に立ち向かいます。物語を武器にして！世界を変えるのは愛の力でした。

黄金の村のゆず物語

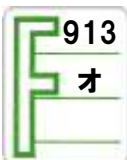
麻井 みよこ/著
ポプラ社



ゆずは世界で認められた日本のくだものです。一度味わうとさわやかな香りが忘れられませんか。徳島県の山深い村、木頭村きとうそんで、ゆず栽培さいばいに人生をささげた一人の指導員しどういんと村人がいなければ、私たちに未知のくだものだったのです。何百年もの間、木頭村で自生してきたゆずが、どのように広まったのでしょうか？

てん 天の台所

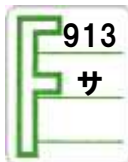
落合 由佳/著 講談社



「台所しんそうは家の心臓なんだよ。」が口ぐせのばあちゃん。そのばあちゃんが亡なくなり長男の天は仕方なく台所に立つ。最初は何もできなかったが、がみババに出会い、料理で人を喜よろこばすことで、自分も幸せになれることを知る。4種のからあげダレ、サバ入りトマトカレー、おてんと焼やきなど、登場する料理がおいしそう。

ぼくちの震災日記

佐々木 ひとみ/作 本郷 けい子/絵
新日本出版社



友樹の家は、東日本大震災で水道も電気も使えなくなり、食べ物を買うには、3時間も並ばなくてはなりません。「今日からわが家は、『がんばろう週間』に入ります」お父さんのこの宣言で、前向きに、家族で困難を乗り越えようと団結します。友樹の経験から、『もしも』のときの大切な心構えを学べます。

波乱に満ちておもしろい！ストーリーで楽しむ伝記 緒方貞子

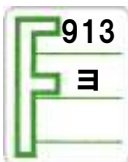
小手鞠 るい/著 佐竹 美保/絵 岩崎書店



緒方貞子さんは、世界で最も知られている日本人女性の一人かもしれません。63歳で女性初の国連難民高等弁務官のトップとなり、10年間勤めました。さて、貞子さんの少女時代は？学生のころは？主婦・母としてはどんな生き方をしてきたのでしょうか？戦前・戦後の日本の歴史と共に旅してみましょ。

夜明けをつれてくる犬

吉田 桃子/作 講談社



ペットは大切な家族だが、動物の寿命は短いので、お別れの時は来る。美咲は犬のレオンが死んで、言葉がうまく話せなくなった。5年生は卒業式に呼びかけをしなくてはならない。美咲は声を出せるのか？レオンへの気持ちを忘れずに、それでも新しい犬との生活を始めるために、一歩ふみだしていく。

パフィン島の灯台守

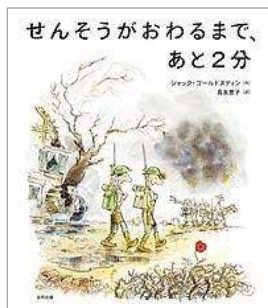
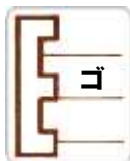
マイケル・モーゴ/作 バンツ・デーヴィス/絵
佐藤 見果夢/訳 評論社



嵐の夜、難破した船からぼくと母さんを救ってくれた灯台守のベンジャミンさん。彼の描いた絵をもらったぼくは、その絵を支援に大きくなった。何度手紙を出しても返事がなかったが、ついに島を訪れることができた。彼は変わらずそこにいた！素晴らしい灯台での日々。しかし、ある日ぼくに召集令状が…。

せんそうがおわるまで、あと2分

ジャック・ゴールドスティン/作
長友 恵子/訳 合同出版



ジュールとジムは、同じ町で、同じ日に、2分^{ちが}いで生まれた、だいの仲良し。先に生まれたジムが、何でもいつも2分早い。第一次世界大戦が始まり、ドイツと戦うために、カナダから戦場へと送られたふたりの運命を、その2分という時間が引き裂いていく…。戦争が残すもの、多くの傷^{いた}みを考えさせられる1冊^{さつ}です。

「くうき」が僕らを呑みこむ前に

ぼくの
だつ 脱 サイレント・マジョリティー

山田 健太・たまむら さちこ/作
理論社



兵士になろうと思ったこともない人が、戦争で死ぬ。それが、きみの未来だとしたら？ たまたま一緒になったクラスメイトとうまくやるためには、何が必要？ 多数決の残念なところって？ 話し合いのときに黙^{だま}っているたくさんの人たちが、「自分の考えを言う」練習をしておけば、きみの未来も、きっと変えられるよ。

生き物たちが先生だ

しくみをまねて未来をひらくバイオメティクス

針山 孝彦/著 安齊 俊/画 くもん出版



電子顕微鏡^{けんびきょう}で生き物を見ると、ペしゃんこになって乾燥^{かんそう}してしまうけど、生きたまま見る方法がわかったのは、ショウジョウバエのおかげだなんて！ フナムシは、足から水をすいあげるって、信じられる？ 赤ちゃんのにおいを研究すれば、戦争がなくなるかも？ あなたも、バイオメティクスの世界へようこそ!!

● 編集後記 ●

この推薦図書リストは、調布市内小学校の学校司書が作成したものです。過去2、3年に出版された本の中からおすすめの本を持ち寄り、児童の興味や学齢を考慮しながら選定しています。掲載されている本は、市内の各小学校にありますので、どうぞご利用ください。なお表紙の使用を許可して下さった各出版社のご厚意に感謝いたします。

発行：調布市教育委員会指導室

編集：学校司書（小学校）

発行日：令和5年9月

刊行物番号：2023-118

このリストの無断転載はご遠慮ください。

